

## 人口の動き

人口	3,961人
世帯	955世帯
出生	2人
死亡	3人
転入	11人
転出	3人

— 1月末住民登録人口から

発行 / 岐阜県加茂郡東白川村 ■ 編集 / 企画広報課 ■ 印刷 / 関市中部印刷KK



## 晴れやかな 巣立ち

今年、中学校を卒業した若者は78人。

在校生や恩師の見送りをうけ、紙吹雪が舞う中を数数の思い出と、大きな希望を胸に巣立って行きました。

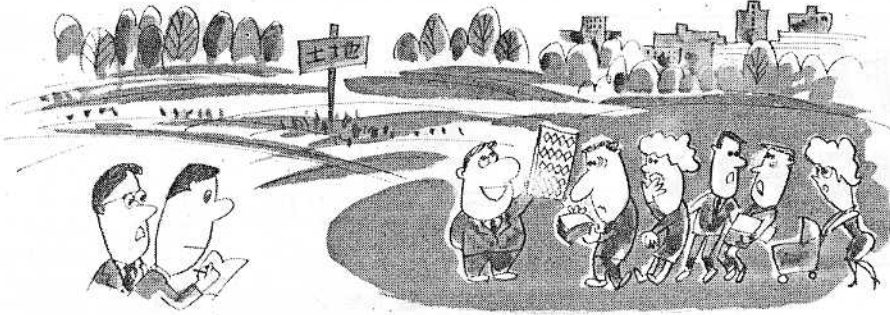
3月13日東白川中学校の卒業式

### 主な内容

- 土地取引きの知識……………2P
- 公社電話の自動化……………3P
- 青年の生活意識調査……………4～5P
- 青年団の演劇活動……………6P
- 東中の愛林活動認められる…7P
- スポーツ……………8P
- 村誌編さん室だより……………9P
- ふるさとへの便り……………10P

知っておきたい

# 土地取引の正しい知識



昭和四十九年十二月、地価の安定と国土の計画的な利用を図る国土利用計画法が施行になってから二年を経過しました。この法律については広報百七十七号で説明しましたが、今回も一度とりあげてみました。

特に一定規模以上の土地取引には届出が必要であり、厳しい罰則もありますので、土地取引をされる場合は前もって役場企画広報課へご相談ください。

## この法律のねらい

日本の国土の総面積は三十七万平方メートルで、そこに一億を超える国民が生活しています。この狭いながらも豊かな自然に恵まれた国土を十分に生かして世界に肩をならべる経済、文化、国民性をはぐくんできました。

しかしめざましい経済の発展にともない国土の無秩序な利用も多くなってきました。

乱開発により美しい国土の破壊そして土地の著しい値上り。こうしたことが住宅など生活用地を手に入れることをむずかしくし、必要な公共用地の確保も困難にしています。

こうした土地利用の混乱をふせぎ、地価の安定と国土の計画的利用で調和のとれた国土の発展を図

っていくのがこの国土利用計画法のねらいです。

この法律の三本の柱

- ・国土利用計画を定める
- ・地価の値上りの防止と正しく望ましい利用を図るため、土地の取引を制限する
- ・遊んでいる土地を公共福祉優先の立場から積極的に活用するための手続きを定めた

## 土地取引には許可や届出が必要

土地を取り替える場合は地域によって許可申請や届出が必要で東白川村の場合、一畝以上の取引があるときは事前に村長を通じ知事に届出をしなければなりません。一つ一つの取引は基準以下であっても、まとめると一畝以上になる場合も届出が必要です。この届出は取引土地の価格が

周りの土地の価格より高すぎはしないか、土地の利用方法は望ましいかなどを調べるためのものです。もし届出のあった土地の価格や利用が望ましくないときは、土地取引の中止や価格を下げるなどのことをするよう注意（勧告）します。

この勧告を聞きいれないときは知事はどのような勧告をしたかを住民に公表し、批判してもらおうこととなります。

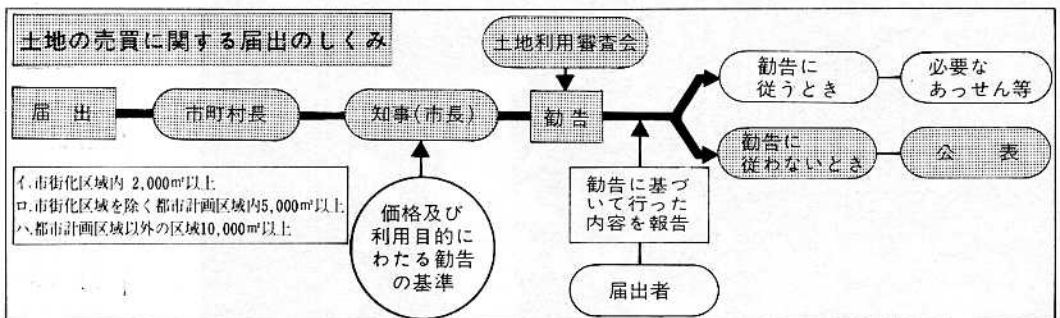
- 届出を要する取引  
売買契約、売買予約、譲渡担保交換など
- 届出を要しない取引  
相続、遺産の分割、土地収用、贈与など
- 届出をする時期  
売買などの契約をする六カ月前

## 違反した人には厳しい罰

この法律には許可申請や届出などを守っていただくため次のような罰則があります。

届出をしなかったり偽りの届出をした者については、六カ月以下の懲役または三十万円以下の罰金。届出をしてから六週間以内に契約した者は二十万円以下の罰金などです。

私たちの村は昭和四十七年、村独自の自然環境保護条例を制定し無秩序な乱開発を防止してきました。さらに国土利用計画法のねらい



をよく認識し、定められた土地取引の規定を守ることが、かけがえのないこの自然を守り育て、正しく利用することに通じます。

### 公社電話の自動化

## 電話線の埋設工事 三月末で終了予定

公社電話の自動化にともなう工事は現在急ピッチで進められています。

交換局の敷地造成はおおむね完了しましたが、電話線の地下埋設工事は白川橋から上なべまでの間で行っており、埋設作業の約八割が終了しています。

この埋設工事区間は人家の多い所で、しかも道路巾がせまいため交通規制をよぎなくされ夜間交通止めで実施中です。

昨年十一月着工以来ご不便をおかけしていますが三月いっぱいまでには埋設工事は終了する予定で



▲ 電話線の埋設作業 (平商店街で)

すのでよろしくご協力ください。

また局舎の竣工はおおむね六月中旬になる見込みで、電話機のと

### 五加地区 一部普通区域の可能性も

自動改式化にともない神土と越原の全域は普通区域となりましたが五加地区については特別加入区域のままとなります。

そこで五加地区では、五加全世帯の約八十六割が地域集団電話に

加入していることもあり、普通加入区域に拡大されるよう関係機関に働きかけてきました。

その結果現在の自動改式時期にあわせて地集の一般化工事を進めることができれば、柏木、宮代、下野、久須見については普通加入区域となる見込みです。

その条件として、五加地集加入者全員の一般化の賛同がまとまりこの三月末までに、全加入者連署の要望書を提出しなければなりません。

現在五加地区では要望書のとりまとめをしていますが、全員の賛同がまとまれば、大沢を除く五加地集電話は単独で約六万六千円、共同で三万二千円の負担で一般自動電話に切り変えることができるわけです。(債券を売り払った場合)

そうなると大沢地区のみが特別加入区域として残るわけで、一般化する場合には単独電話で六万六千円の他に普通加入区域から超える距離の実測により百円につき九千円を加算した額を負担しなければなりません。

このため村では地域格差を解消するため大沢地区にかかる費用の一部を村が負担することも検討されています。

なお、地集加入者全員の賛同が得られず、自動改式後も地集として存続する場合の一般化計画は今のところ未定です。



春の全国交通安全運動は、四月六日から十五日までの十日間にわたって繰り広げられます。

### 春の全国交通安全運動 運転はシートベルトを締めてから

シートベルトを締めてから走っている車を少しづつ見かけるようになりましたが、窮屈だ、面倒だと言ってしまう人がほとんどです。昭和五十一年中、県下で車を運転したり同乗中に交通事故にあい亡くなられた八十人のうち約八割の人はシートベルトを締めていなかったため、車内における二次衝突や車外に放り出されて死亡されています。

シートベルトはハンドルを握った場合の命綱だと言うことができます。車に乗る人も乗らない人も、それぞれの立場でより安全な交通について考えたことがあられるでしょうか。

害者と被害者の相対的な不注意から引き起こされ、時には被害者の側にもかなりの無謀や過失が見受けられます。車の直前直後の平気な横断、注意をしないで道路への飛び出しなど、老人や子どもにも事故が多いのはこのためであると思われれます。シートベルトの見直しは

交通事故は昭和四十七年から少しずつ減ってはいるものの、全国で年間一万人もの犠牲者の発生、村内においても死亡、重傷事故が発生していることからこの運動の機会に、運転者も歩行者も家族ぐらみましよう。

歩行者にも責任が

運転者の自損行為を別とすればいつの場合でも交通事故は加



# 『村が好き』が七二%

この村が好きかきらいか

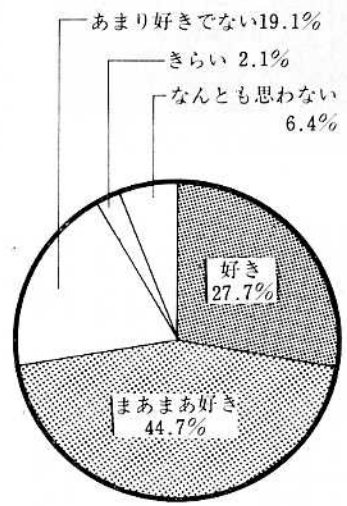
「住めば都」というが、青年が東白川村を愛していることは将来的にたいへん明るいものとみてよいだろう。  
人口三千九百余人、ここ五・六年人口の大きな変動はないが、明るい見通しとしてUターン現象は起きているし、高校を卒業して村

に帰ってくる青年が多くなっている。

村のどんなところに魅力を感じているか

恵まれた自然がある……二九割  
人の気持が温かい……二五割

東白川村が好きか



文化活動やスポーツがさかんである……一五割  
ただなんとなく……一五割  
などと続いている。

自然破壊とか、別荘の分譲など他市町村で問題になっていることが本村にはない。そんなところに魅力を感じたのであろう。

今の東白川村の自然をいつまでも大切にしたい。これが青年を含めた住民の意向であらう。

自然の魅力とともに「人の気持が温かい」が多くを占めている。

これは農村における特長であらうしかし、これとほうらはらに「村が嫌い」の理由の中に「人のうわさを気にしすぎる」「人のことに干渉しすぎる」が五〇割を占めていて、親切心はけっこうだが度がすぎているはいけない。

「村が嫌い」の理由の中に「人のうわさを気にしすぎる」「人のことに干渉しすぎる」が五〇割を占めていて、親切心はけっこうだが度がすぎているはいけない。

それが実行できる条件整備をしなければならぬだろう。

これは青年たちを責めるより、大人たちの相談しにくい要素を考えなければならぬことでしょう

これは青年たちを責めるより、大人たちの相談しにくい要素を考えなければならぬことでしょう

これは青年たちを責めるより、大人たちの相談しにくい要素を考えなければならぬことでしょう

これは青年たちを責めるより、大人たちの相談しにくい要素を考えなければならぬことでしょう

これは青年たちを責めるより、大人たちの相談しにくい要素を考えなければならぬことでしょう

これは青年たちを責めるより、大人たちの相談しにくい要素を考えなければならぬことでしょう

これは青年たちを責めるより、大人たちの相談しにくい要素を考えなければならぬことでしょう

これは青年たちを責めるより、大人たちの相談しにくい要素を考えなければならぬことでしょう

これは青年たちを責めるより、大人たちの相談しにくい要素を考えなければならぬことでしょう

魅力の理由で「よい職場や学校があるから」と答えた者はわずかに二割であった。これは村が今後どのような事業に力を入れるべきかを示唆している。

郷土のために何かをしようという気持はあるか

強くもっている……七割  
もっている……三三割  
あまりもっていない……三八割  
ぜんぜんもっていない……六割  
わからない……一七割  
「長いものにはまかれろ」的な青年が多くなっている中で、社会のために何かをやらうとする約四〇割を大切にしたい。

それが実行できる条件整備をしなければならぬだろう。

これは青年たちを責めるより、大人たちの相談しにくい要素を考えなければならぬことでしょう

これは青年たちを責めるより、大人たちの相談しにくい要素を考えなければならぬことでしょう

これは青年たちを責めるより、大人たちの相談しにくい要素を考えなければならぬことでしょう

# 気質をかいま見る

今の若者は自分本位だとか、協同意識がないなどといわれています。はたしてそうでしょうか。  
このほど岐阜県が十九項目にわたる青年の生活意識調査を行いました。本村でも現代青年の考えを知るため独自の調査を行いました。

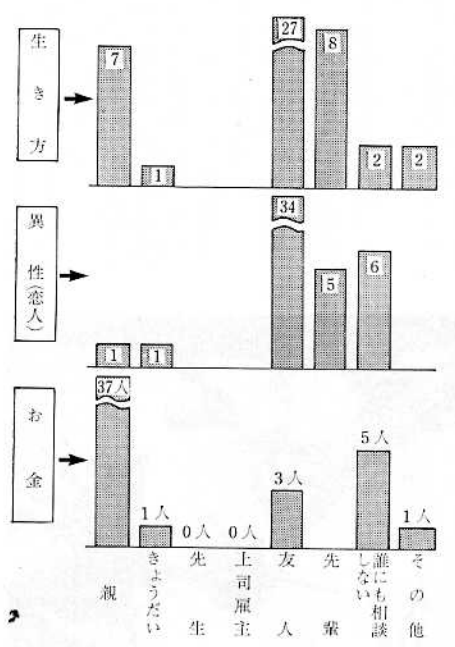
この調査結果から青年たちをとりまく現代社会のひずみを発

## 『相談相手は友人』が圧倒的

青年たちはこんなときだれに相談しているだろう

き方についても「先生(恩師)や職場の上司に相談する」者は一人もいなかったことである。

こんなときだれに相談するか



### いま心を打ち明ける友がいるか

「いる」と答えた者が九三・六割。青年たちは友人を大切にしている。この傾向は友人をだしおいても出世しようとする、ひどくほどの猛烈青年はいないことを物語っている

そしてその話題は男女の交際のこと……二三割  
将来の生活や生き方……二三割  
仕事のこと……一八割  
趣味のこと……一〇割となっている。

# 現代青年の意識生活調査

見し、私たちがもう一度今の生活を考えてみたいものです。

## 調査対象

村内の十九歳から二十四歳までの独身男女百二人の中から無差別に抽出した五十人

## 調査方法

配票調査

## 回収

四十七人(男二十五人、女十二人)

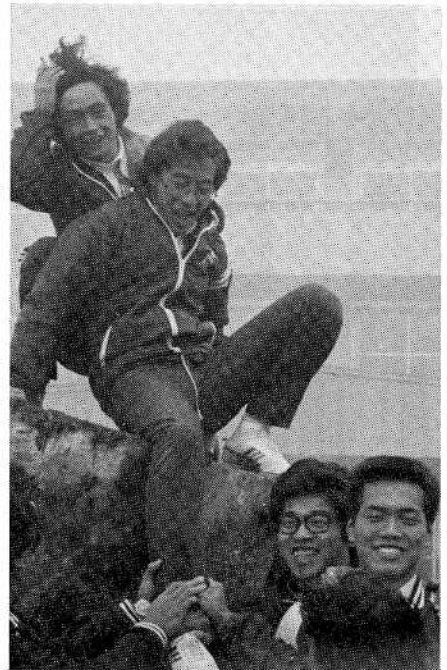
## 話し上手な人 積極的な人 はきらい!

異性のどんな点に 魅力を感じるか

この調査は客観的な意見も含まれているが、青年たちに一番関心があるようだ。

男女共通では思いやりのある人が特に多い。

男性からみた女性の魅力は健康である人……二〇割  
思いやりがある人……一八割  
容姿やスタイルがよい……一七割



## 何にいちばん 充実感を感じているか

青年たちは家庭を大事にしたいと思いつつながら家族の旦那さんでは充実感を感じていない。

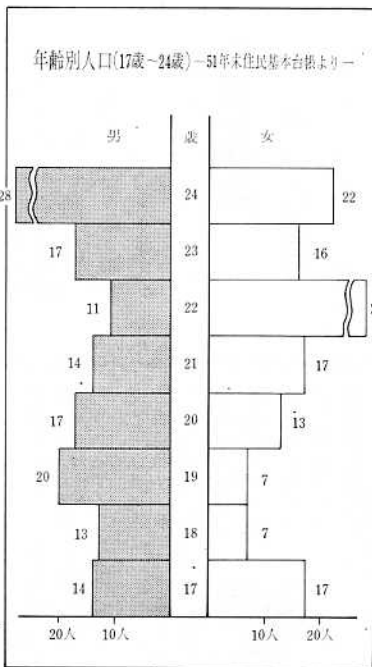
友人や仲間といるとき……三六割  
スポーツや趣味に打ちこむとき……三四割  
仕事に打ちこんでいるとき……一〇割  
などとなっている。

それに個性的な人と続いているが、「話し上手な人」はゼロ、「積極的な人」はわずか一人と好かれにくいのも目をひく。

女性からみた男性の魅力は頼りになる……二四割

思いやりがある……二四割  
さっぱりしている人……九割  
そして健康な人と続いている。

好かれにくいのは「親切な人」「話し上手な人」「積極的な人」があげられている。



親切で積極性のある男性がなぜ好かれにくいのだろう。先頭に立って活躍しようとする

男性の少ないのもこのへんに問題があるのでは……

## 積極青年はわずか8%

### 職場や地域での 青年の態度

人の先頭に立って計画したり、指図をする積極性のある者は少なく、約半数の者が「先頭には立たないが、すすんで協力する」と答えている。

### 青年が考えている暮らし方

「まじめに勉強して名をあげる」と答えた者が二割、ましてや「自分のことは考えず社会のためにすべてをささげて暮らす」と答えたものは一人もいない。

ほとんどが「自分の趣味にあった暮らし方」「その日その日ののんきにくよくよしない暮らし方」方法を望んでいる。

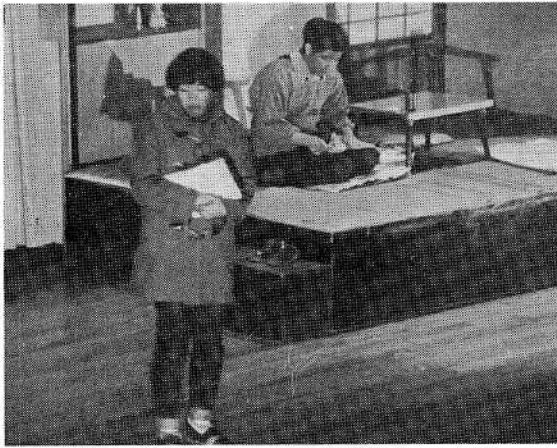
### 青年の考えている家庭とは

「一日の仕事の疲れをいやす憩いの場である」と答えた者が四割、「家族の信頼をつよめる場」と答えた者が一八割などそれぞれ家庭を大切にしている。家庭教育の大切さを一応理解していると思われる。

東白川村の社会体育や青年学級の茶道、華道が予想以上に振興したのもそのあらわれかもしれない。休日や余暇を娯楽などで楽しむと答えたものが二人だけと少ない諸

物価の値上がりなどでよそへ遊びに行くよりは、村の中での仲間づくりやスポーツの振興に目が注がれたことはよいことである。

見られない。これは全国的な青年の姿であろう。いくら自分ががんばってもむくわれない現在の社会情勢の不満が、青年の積極性をむしろ減らしている。



▲ 最優秀となった五加分団の「遠笛」の熱演

### 恒例の東白川村青年祭

## 文化の火ともす演劇活動

東白川村青年団の青年祭が二月十三日の日曜日、東白川体育館で開催されました。

東白川村の青年演劇は昭和二十四年から続けられており、こととして二十九回目、若者の村外への流出や団員の演劇に対する興味の衰退など、過去に何度も中止のピンチがありました。演劇活動を通して団員の結束を固め、村の唯一の文化活動の

支えとして続けられてきました。

今年の青年祭の特徴は、演劇一本に絞る、例年のような余興などは取りやめ、各分団とも十分練習に打ち込むことができ、見ごたえのある劇となりました。しかし、青年達の熱演とはうらはらに今年も観客の大部分が子供さんで観客席はさみしい限りでした。

毎年繰り返される観客の少なさは、青年団活動に対して関心の薄い現代の世相にも問題があるようですが、青年達自身も時期や方法などをもっとよく考えてみる必要があるようです。

この大会は美濃加茂ブロック青年団協議会主催の演劇大会の予選も兼ねているため、「劇団はぐるま」の武藤先生、田口博教育長、

安江啓次社教主事、OBの栗本重秋さんが審査に当たり、最優秀作品に五加分団の「遠笛」が決まりました。

成績は次のとおりです。

・最優秀作品 創作劇 五加分団「遠笛」

・優秀作品 創作劇 神土Aブロック

「団の若者たち」

#### 努力作品

越原分団「峠」  
神土Bブロック「花火」

#### 最優秀演技賞

五加分団 古田幸代  
神土Aブロック 田口真澄  
越原分団 安江雅信  
神土Bブロック 林裕子  
今井まみ

### 地道な活動

#### ついに実る

美濃加茂ブロックで最優秀

本村の青年祭から一週間後の二月二十日、美濃加茂市中央公民館で美濃加茂ブロック青年団協議会の演劇大会が開催され、五加分団の「遠笛」が出場し、県大会連続出場の下米田青年団をやぶりみごと最優秀賞を勝ち取りました。この栄冠を村民の皆さんと一諸に心から喜ぶたいものです。

今まで、東白川の青年演劇のレベルは、他町村のそれに比べ、低いものと誰もが考えていました。

青年演劇に限らず、本村の文化活動も振興の途上であり、今回の大会に参加した意味も他町村の演劇を研究して行くところがあったのですが、出場する以上は、と、青年団員一丸となり、さらに一週間毎晩の練習を重ねました。

そのかいあって、初めて最優秀賞を獲得したのです。

数々のエピソードを残して今年の青年演劇活動は幕を閉じた二十九回目を数える今回まで何度となく中止のピンチに喘ぎながら続けてこられたのも、先輩たちの「青年活動の伝統を守ろう」とする心を受けついでいるからである。

活動のマンネリ化から新しいものに飛びつく現代の世相の中で、その伝統を守り続けている青年団の演劇活動に拍手を送りたい。

## 青年と演劇



社会教育主事 安江 敬次

ちていた。

こう感じたのは、私だけであつたらうか。

東白川のすみずみで、青年演劇を批評できるそんな日が待たしい。

文化活動が必要だと感じる。そのことから、スポーツ活動と演劇活動を組み合せ地道な活動を行っている青年団活動を高く評価したい。

画像文化の発達に伴って、我々の目は肥えている。しかし、その肥えた目にも今年の青年演劇は、レベルの高いものであつた。

青年達の前向きに役に没して演ずる姿、それを盛り上げるために裏方として努力する青年達の姿は希望に満ちた。

「遠笛」脚本 安江啓次

キャスト

古田恵子、古田幸代、今井久子、今井信好、野村秀、藤井悟  
スタッフ  
栗本重秋、古田茂樹、安江一成  
成団長外十二人

このことは、青年団員に大きな励みであり、これを機会に青年の演劇活動がより活発化して行くことを期待されます。

地道に努力している青年団を私達は、暖かい目で応援したいものです。

この演劇に取り組んだみなさんは、次の人たちです。



# 認められた愛林活動

## 東中が木原財団から表彰

去る二月十七日、東白川中学校が学校林優秀校として財団法人木原営林大和事業団から表彰を受けました。

当日は木原財団の福森友久監事、県の造林課長ら関係者が東白川中学校を訪れ表彰式が行われ、生徒を代表して生徒会長の牧野友紀央君が表彰状と副賞二十万円を受け取りました。

### 学校林

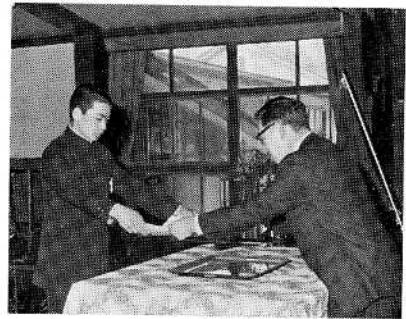
#### 少年の山

学校林というと年配の人にとっては懐かしい名称でしょうし、若い人たちにはピンとこないかもしれません。

神戸、越原、五加にそれぞれあった学校林二十五杉は大正十一年村に寄付され、現在は村有林となっています。

その後戦時中の強制伐採などによる山林の荒廃を復活させるため

造林の啓蒙運動が展開され、昭和三十一年に成人の山の造成、昭和



▶ 表彰状を受ける牧野君

四十四年には県下のトップをきって緑化少年団が結成されました。この緑化少年団の結成と同時に少年の山が役場裏山の私有林一・五杉を分取林として造林されました。これが新しい姿の学校林となつたわけです。

現在少年の山には、樹齢六年から八年のひのき約五千本がすくすくと成長しており、毎年中学生が春の施肥、夏の下刈りに汗を流し今では「少年の山」の看板も見えないほどになっています。

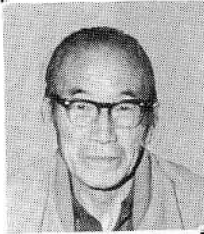
#### 養いたい愛林の心

山林が総面積の九割を占め文字どおり山村に暮らすわたしたちにとって、山林がもたらす有形無形の恵みが生活の支えとなつていま

「自然に親しみ、自然を愛し守り育てる気風を養い、自然の恵みに感謝する豊かな人間をつくる」という緑化少年団の活動は意義深いものがあり、少年の山をその実践の場として今後ますます意欲的な活動が期待されます。

#### 木原営林大和事業団

というのは日本でも有数な山持ちである東京の木原崇雲さんが、七百杉の山林を基に昭和四十一年に設立された財団法人で、特に学校林を造成している全国の小中学校の中から優秀な学校を五・六校選び表彰しているもので、今回東白川中学校がその中に選ばれたものです。



中谷 田口良三さん

### コスモス短歌会 〇先生賞を受賞



昭和五十年から広報に掲載している「私の作品」の選者をお願いしている田口良三さん（中谷）が宮柁二主宰のコスモス短

歌会で第二十三回〇先生賞に選ばれました。〇先生賞というのは国文学者で短歌の第一人者であった故折口信夫先生を記念する賞で頭文字の〇をとり〇先生賞といい、応募作品の予選されたものの中から厳正な審査のうえ一人の受賞者を決定するもので、作者としての評価と祝福を受けるものです。

今回の受賞作は「樞樹の一日」と題した三十首詠で、山村に住む一老人の生き方、作業ぶり、心境などを自然の中にとけこませて詠いあげたもので、二百数十の応募作品の中からみごとこの賞に輝きました。

田口良三さんは十七歳ごろか

ら短歌を始められ、一時期俳句も。戦前は八年間教職、昭和十四年から大阪で民間企業に勤務され終戦と同時に村に帰り農協組合長など公職につかれる。この中広い人生経験も田口さんの作品を格調高いものにしていくようです。

還暦とともに本格的に短歌と取り組み、朝日歌壇に投稿。昭和四十三年六十八歳でコスモス短歌会に入会されて以来八年間一回も欠詠せず、七十六歳〇先生賞初の高齢者の受賞。

私たちの村からすればらしい歌人が誕生したことを皆さんと共に喜び、誇りにし、田口さんの今後の活動を祈りたいものです。受賞作品は十ページ私の作品欄に掲載しました。

### 戸籍の窓



誕生おめでとう  
おめでとうございます。

(二月)

- (下野) 今井 直美 麻里
- 幸美 長女
- (栃山) 安江 好成 理香
- 千恵子 長女



いつまでも  
おしあわせに

(二月)

- 桂川 勇吉 (日向)
- 小池ちづる (中津川市)
- 今井 等 (大沢)
- 塚本 悦子 (七宗町)
- 安江 哲男 (日向)
- 青木 きよ (日向)
- 安江 博志 (中谷)
- 今井 幸子 (西洞)



おくやみ  
申しあげます

### けいじばん

(三月)

- 額額 田鶴 (上親田)
- 安江 敬次 (平)
- 安江政五郎 (平)

スポーツ

スポーツ

スポーツ

### 第四回村民親睦剣道大会

## 団体では越原下が優勝

三月六日東白川体育館において第四回村民親睦剣道大会が開かれ熱戦を繰り広げました。その結果、団体の部では越原下が、個人の部では安江庄三さんがみごと優勝しました。この大会は昭和四十九年から特に壮年層が参加できるスポーツとして体育協会がとり入れ始まった。



第一回大会では百三十人もの剣士が集まり大きな盛り上がりを見せましたが、回を重ねるごとに下火となり今回は壮年の参加は少なく青年と中学生だけのいまひとつ盛り上がり欠けた大会となりました。

「だれにもできる」とはいってもソフトボールなどはまたおもむきを異にする競技なだけに、今後剣道を盛んにしていくためには、むかし鍛えたという中年層の皆さんにもっと積極的に参加していただくことと、経験のない人も気軽に剣道を楽しめるようにもっていかなくては剣道人口の底辺拡大を図ることは望めないでしょう。それにはまず指導者の育成が第一でしょう。それに防具

など用具の充実も必要でしょう。

中学校では剣道は盛んで一、二年生で二十五人の部員がおり、中でも四人の女性剣士が誕生していることはたのしいかぎりです。剣道は体力の向上ばかりでなく

気力の充実など精神面もはぐむすばらしいスポーツです。美容と健康とストレス解消にと女性も気軽に参加できるまでにもっていきたいものです。

大会の成績は次のとおりです。

### スポーツ保険に加入しよう

本村のスポーツ活動も年々盛んになり、住民相互の親睦と融和を図りたいへん喜ばしいことです。しかし、スポーツ人口が多くなるにしたがってスポーツ活動中の事故が起きています。

こうした不慮の事故を少しでも保障できるのがお勧めしているスポーツ安全協会傷害保険です。

これまで本村には幸いにして大きなスポーツ活動中の事故は起きていませんが、骨折、捻挫などによる事故では、事故から治るまでの日数×千円が保障されています。スポーツを楽しむ人みんなが加入し安心して伸び伸びとスポーツを行いたいものです。

団体の部

優勝

越原下(松岡良典、安江正大、今井隆秀)

準優勝

越原上

個人の部

三位

神土

優勝

安江庄三(大明神)

準優勝

清水豊隆(平)

三位

樋口春市(中谷)

中学生の部

優勝

三年生男子 安江 邦弘

二年生男子

安江 浩行

一年生男子

荻田 英巳

一年生女子

安江由紀子

準優勝

二年生男子

桂川 公幸

一年生男子

安江 道和

一年生女子

安江 由佳

三位

二年生男子

村雲 章

一年生男子

村雲 敏巳

一年生女子

安江美由紀

#### ▲加入方法

一、加入手続  
村内に住む人でスポーツグループ団体、社会教育団体、その他地域のスポーツを楽しむとするものは、代表者を決めて加入することができますので氏名と年齢をはっきり書き保険料をそえて申込むこと個人での申込みも教育委員会ですべて受付けています。

二、申込み先および問合せ  
東白川村教育委員会事務局  
社会体育係 有線二、一七二

三、受付  
第一次受付 昭和五十二年三月三十一日まで  
第二次受付 昭和五十二年四月三十日まで

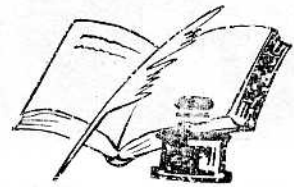
医療保険	通院	一、〇〇〇円
入院	一、五〇〇円	

区分	第一種
保険料	三〇〇円
死亡後遺傷害の保険金額	三〇〇万円



### 民俗風俗あれこれ

## 人の一生



一村誌編さん室だより

出生から死亡に至る人間の一生は遠い祖先以来繰り返されてきた。我々の子孫もその繰り返しをいつまでも続けていくことで、生と死の間で人の一生が営まれていきます。

村誌民俗編の中から、この村の人びとの間に古くから伝えられてきた一生の間の主な儀礼を「民俗風習あれこれ人の一生」と題して数回にわたり抜粋してみましよう。部落によって、また家々によってそのしきたりは多少異なるかもしれませんが、また家々点がありましたら村誌編さん室までお知らせください。

### 帯祝

嫁入りした女性が自分の初めての妊娠を知ると、まず里方の母親に打ち明けるのが普通で、里方の母親から婚家の姑に知らされることも多かった。

そして妊娠五カ月になると戌の日を選んで「帯祝い」をした。戌の日を選ぶのは犬はお産が軽いという縁起からで、この日にちなんで安産を願い、嫁の里方から贈られた腹帯(晒し木綿一反)を、産婆の指導で着帯した。

この腹帯を「岩田帯」と称して普通は七・五・三の理によって七尺

五寸三分(約二・二五尺)に切って用いた。

当日は里方の母親、仲人の女房親せきや隣家の主婦達を招いて祝宴を催すが、この席へは男子禁制を例としていた。

近年では、妊娠すると市町村役場から母子手帳の交付を受けるとともに、医師や助産婦の診断を受け、母体保護に心掛けるようになったが、昔は出産経験の豊富な老婆たちから聞く数多くの禁忌や俗信だけを頼りに日常身を慎しみがら出産を待ったという。

### 出産

昔は、出産は不浄なものと考え

産室は納戸のような人目のつかない薄暗い部屋が使われていた。敷物を上げた板の間にわらを敷きボロ布などをのべる。

産婦はその上で、天井から下げた「力み綱」につかまって陣痛の苦しみに耐えなければならなかった。

産婆のいなかった時代には、出産に経験をつんだ老婦を頼むのが普通で、それを「とりあげ婆」といって出産についての一切の世話をし、初湯を使ってくれた。

普通七日目をもって産婦の床揚げをしたが、産婦はけがれたものという禁忌があって、それまではどや井戸には近づくことは許されず、また食事の煮炊き用具や食器類もすべて別扱いであった。

出産から二十一日(女児の場合は十八日)たつと「おびや(産屋の転訛)が明けた」といい、産後の見舞のことを「おびやしなに行く」などといった。

### 現代

では、昭和四十年ごろから助産所とか病院で出産する人が多くなり、自宅分娩は減少した。昭和四十三年四月に母子健康センターが開所し、村内の人はもちろん、他市町村へ嫁いでいる人の「里帰り分娩」もその半数を占めている。開所以来この二月末までに八百七十一人が産声をあげている。

### 子宮腫部びらん

「びらん」は子宮の入口を中心

に円形に赤く見える部分のこと

気で婦人の約一五割位がもっているといわれています。原因は明らかではありませんが、ホルモン作用と関係が深く性成熟期に大きくなります。症状は筋腫の場所や大きさにより異なりますが、最も多いのは月経異常(月経痛が強い・量が多いなど)で、それが月とともに強くなっていくのが特徴です。また貧血が強くなってきます。治療は主として手術が行われますが、あまり大きくない場合は経過をみることもあります。

トリコモナス

女性では主に

陰・尿道・膀胱、男性では

尿道・膀胱・前立腺などに

感染して炎症

をおこします

症状は女性

の方が強く、

悪臭のある膿性のおりものがあり、しばしば陰の入口付近の痒みを伴います。性交時の痛みや血の混じったおりものをみることもあります。

男性は症状の軽い場合が多く尿道がひりひりしたり、むずむずしたりします。

この病気は性交によって感染しますので治療は男女とも必要です。

子宮筋腫

子宮に筋肉のこぶができる病



婦人科の病気

これは若い人のがんが増加したというのではなく、検査が広まり若い人にみつかるといわれています。

これは若い人のがんが増加したというのではなく、検査が広まり若い人にみつかるといわれています。

いづれにしても早期発見、早期治療のため、異状を感じたら検診を受けることが大切です。

子宮筋腫

子宮に筋肉のこぶができる病

ふるさとへの便り



広報で知る村のできごと

# しばし在郷の気分

日増しに暖かくなります。皆々様お変わりなきご様子お喜び申しあげます。

先日はようこそ広報紙を送って下さいましてありがとうございます。ひとときふるさとへの地に居ることく暖かい気分が親しみました。

子供さんたちの創作の意欲をもてる教育指導のあり方などうれしく思いました。

消防出初式は立派に行われていましたね。昔からとても熱心に訓練されていましたが、備えあれば憂いなしとか、いまさらのごとく胸を打たれた次第です。



## うさぎ追いかの山



2月13日神戸小学校の4年生以上の子供たちが学校の裏山でうさぎ狩りをしました。

やぶがひどく、ひつかき傷をつくったり、ツルに足をとられて転んだりの悪戦苦闘でしたが、樹木を荒らす悪漢うさぎ1匹を召し捕りました。

やがて何年か先、子供たちが村を離れてふるさとを思うとき、この野山に親しんだ一日はすばらしい思い出となることでしょう。

安城市小堤町 二ノ二 今井志す江 (旧神戸平に居住) 今井志す江さんは、先に神戸小学校へ図書を寄付していただきましたので、広報をお送りしたところ、そのお札の便りをいただいたものです。

成人されました皆様はなんと明るく華やかで安城の方と少しも変わりませんね。むしろ安城より進んでいる点は婦人会の協力のもちつきです。暖かい和気が流れてくるように思いました。

末筆になりましたが、亡くなられました皆様にお悔み申しあげます。

わけても樋口甲子郎様、田口和子様は私のクラスメートでした。

友二人 今は亡きとの広報紙 悲しみ深し 寒菊の花 遠くの空とはいえ知らずにいたことが悲しみを増すばかりでございます。

お札を申しあげ、これにて失礼いたします。

## 第二十三回O先生賞受賞作品

### 植樹の一日 田口良三

焼鎌の利鎌研ぎ上げ苗を負ひ揆鉢提げて山へ来にけり  
拙なかりし一生も末の償ひと樹をば植ゑ居り山を這ひつつ  
積りたる落葉、腐葉土掻き除けて丹の山土に朝光ぞ滲む  
種播きて三年育てし檜苗の繁の細根はほぐしつづ植う  
もろ掌にて山の赤土採みほぐし樹をば植ゑ居り祈ることく  
足弱の吾の植樹はひさまづき齋くがごとく畏みてする  
陽の道を案じつつ苗の裏表確と見さだめ植ゑてゆくなり  
消え去らむ吾が歌よりも命永き一樹一樹ぞねもごろに植う  
強ひられず求むるもなき労働のかかる自由も老のたまもの  
里山の霞の中にこだまして屋簷を知らず孫の声らし  
静まりし檜郡の上に萌え出でて檜の新樹の銀緑をよぐ  
向山の霞を裂きてチエーンソの音聴こえ来ぬ樹が叫ぶなり  
去年植ゑし檜の苗を坊主にし糞置きゆけり兎のわつば  
志いささか持ちて帰りしが裸になせし山に樹を植う  
実り薄き一生のことも白雲ぞ匂ふ檜の苗を植ゑ居つ  
枝も幹も棘を甲ひしたらの芽を吾に摘めとやこの老妻は  
棘甲ふたらの新芽をかき採りつ何ゆゑ思ふ 鯛焼きの唄  
ゆく春の日影眩しみかき採りつたら太芽に掌は濡れにけり  
山ゆ見て吾が城、領地ひと目なり赤字に喘ぐ中核農家  
険しかる農を継ぐ子は峽の田に日がな俯き耕耘機推す  
里山に孤り樹を植う扱けさは老に賜ひたる充足とせむ  
植ゑし樹の後の五年の手入れをば許す命か明日かも知らず  
百本の檜の苗を植ゑ終へて茜に潤む夕日見て坐す  
樹を植ゑて山を下りつつ夕光の残る歳を一つかみ折る

(三十首連作中七首省略)